

眺望

PROSPECTS



公益財団法人 くまもと産業支援財団
理事長 厚地 昭仁

今こそ絶好の機会 飛躍の一步を！

熊本県の製造業は、今、大きな転換期を迎えています。

TSMCの進出は、半導体関連産業とそのサプライチェーンに新たな活力をもたらし、県内企業に貴重なビジネスチャンスを生み出すことが見込まれます。その影響は半導体関連産業以外にも及び、公益財団法人地方経済総合研究所・九州フィナンシャルグループによると熊本県内に10年間で11兆2,000億円規模にのぼる経済波及効果をもたらすと推計されています。

県内の中小企業支援を目的とした私たち「(公財) くまもと産業支援財団」は、創設以来、県内中小企業の経営基盤強化、創業促進、技術の高度化等の支援を通じて、地域産業の振興発展に寄与して参りました。

なかでも、半導体製造装置や産業用機械などの各種装置部品の加工や組立て等を行っている中小ものづくり企業を対象とした「ビジネスマッチング」や、技術の高度化等を目的とした「専門家派遣」は、当財団の基幹となる事業であり、これまでも多くの県内企業に御利用いただいております。

その実績と経験を活かし、今年度より県から委託を受け、半導体サプライチェーン参入を希望する県内企業への支援等を行って参ります。

半導体の製造は、極めて高い精密さと品質管理が要求される産業であり、また商流が複雑な産業です。そこで、新規参入を希望する企業向けに半導体業界の特性や動向を収集していただくためのセミナーを開催し、産業構造を理解していただく機会を設けます。

また、サプライチェーンの一員になるためには、超高精度な技術や、厳格な品質管理など、高度な技術基盤が求められます。これらの課題に対応するため、半導体産業OBを参入支援のアドバイザーに選任し、参入を希望する企業の生産力等をヒアリングし、必要に応じて技術等の指導を行い、半導体製造装置産業への参入を支援します。

また、既に、半導体産学連携コーディネーターを配置し、県内企業と首都圏の大手半導体関連企業とのネットワーク構築を図っているほか、県内外の大手メーカー等との取引商談会を開催しています。さらに、DX・GXを通じて成長を志向する県内企業に対しては、事業計画作成や専門家派遣による生産性向上を目的とした機器導入を支援するなど、多種多様な支援を展開しております。

TSMCの進出がもたらす半導体産業の集積は、熊本県の中小製造業にとって、飛躍の発展の機会です。そのためには、この絶好の機会を捉え、チャレンジするという強い意志が必要であり、私たちはそのような企業を全力でサポートいたします。

その結果、県内中小企業の競争力強化と持続的な地域経済の発展を実現し、活力ある熊本経済の実現に貢献して参りたいと考えています。